

リニアは夢の乗り物か？

ストップリニアニュース No.10

発行：リニア新幹線を考える相模原連絡会 2013.09.10

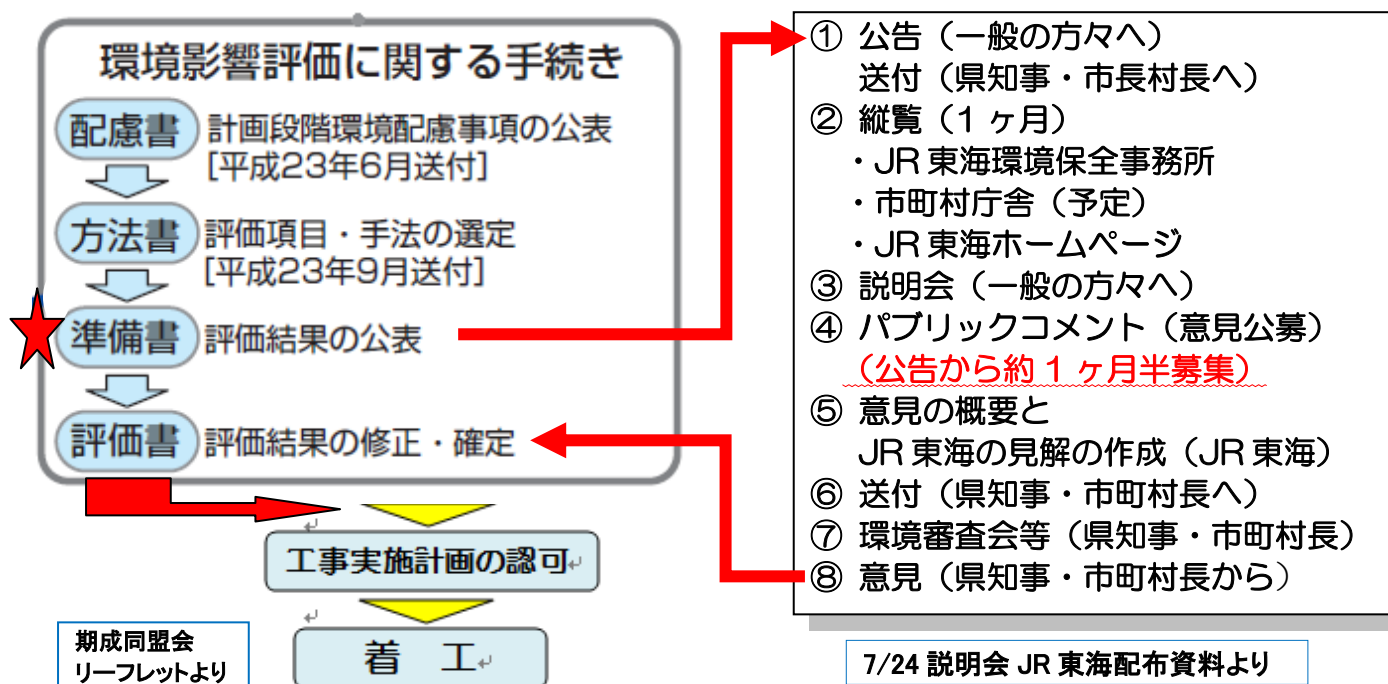
公表間近！リニア新幹線のルート・駅・車両基地位置

「全路線19日にも発表」のみだしが9月4日付中日新聞の1面におどった。翌日はインターネット版の岐阜新聞、朝日新聞、毎日新聞が同様の記事をのせた。当のJR東海ホームページは、なぜか「・・・決定した事実もありません」としている。いずれにしても、詳細なルート、駅の立地、車両基地位置などの公表は間近と思われる。

誰でもJR東海に意見を出すチャンスだ！

「リニアはもう決まった」わけではありません。準備書公告(図★印)の後、説明会への参加、パブリックコメントへの応募などに多くの住民がかかわり、意思をはっきり示したい。

◆ 期間は公告後わずか1ヶ月半、みなさんJR東海に意見書を出しましょう。



リニア中央新幹線 学習会

環境影響評価準備書の問題点

—リニア中央新幹線の場合—

講演と意見交換 **辻村 千尋 氏** (日本自然保護協会)

10月14日(月) 午後2時より (資料代300円いただきます)

ソレイユさがみ セミナールーム 2 にて(橋本駅北口 イオン6F)

主催:リニア新幹線を考える相模原連絡会

共催:教育と緑ある橋本の町づくりを考える会 リニア沿線住民ネットワーク
連絡先:浅賀(090-4378-9257) 中野渡(042-712-7077,mail:MHA01005@nifty.com)

JR 東海、国土交通省はリニア計画を白紙に戻せ！

沿線住民が結集、リニア山梨実験線走行試験抗議行動

8月29日、JR東海はおよそ2年ぶりにリニア走行試験を42.8kmに延長された実験線で再開した。山梨県立リニア見学センターで、太田国交大臣や横内山梨県知事らが出席、出発式と時速500キロ試乗をおこなった。JR東海は今後営業運転に向けて、最大12両編成で試験を予定している。私たちリニア相模原連絡会は、見学センター前の抗議行動に参加。横断幕やプラカードを掲げ、岐阜、山梨、東京などから集まった約50人の仲間とともに「南アルプスにトンネルを掘るな！」「沿線住民はリニア新幹線計画を認めないぞ！」とシュプレヒコール、リニア新幹線計画の凍結・再検証をちから強く訴えた。



「ストップ 危険なリニア」の横断幕が
リニア相模原連絡会(後列)

☆気になるシリーズ

リニアへの疑問 その④ どうして見られない“リニアの走る姿”“車窓からの景色”

リニア中央新幹線は東京—名古屋間ルート約286キロのうち、約87%はトンネルです。「明かり」と呼ばれるトンネルから次のトンネルまでの地上部分は、わずか38キロしかありません。その地上部分はすべてコンクリート製の「フード」に覆われる見込みのため、リニアの走る姿を眺めることも、車窓から富士山などの景観を楽しむこともできません。



●山梨実験線の延長工事現場と「フード」

フードの目的は、土砂崩れ、雪、小動物の侵入防止対策と騒音防止対策とのこと。リニアの走る姿を観光資源に使いたい沿線自治体は、フードの連なりは「まるで土管、水道管のように見える」とし、「フードを透明なものにしてほしい」と要望。これに対しJR東海は、アクリルなどは防音機能や耐久性に問題がある、メンテナンスも難しいと、否定的です。(M)

★ ひき続き「リニア中央新幹線」計画の凍結を求める署名活動にご協力をお願いします。

●第三次集約：2013年9月30日

★ 活動は市民の募金で維持しています、ぜひご協力をお願いします。

●郵便振替口座：00240-7-71305 口座名：リニア新幹線を考える相模原連絡会

お願い

発行者： 浅賀きみ江 相模原市緑区東橋本 2-6-2 (TEL:090-4378-9257)
編集責任： 中野渡 旬 相模原市緑区東橋本 3-19-8-309 (TEL, FAX:042-712-7077 mail: MHA01005@nifty.com)